

(様式第 9)

21 病事務第 2 2 号
平成 2 1 年

厚生労働大臣 長妻 昭 氏

開設者名 公立大学法人名古屋市立大学 理事長 西野仁

名古屋市立大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 2 0 年度の業務に関して報告し

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	53.6 人
--------	--------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法 → 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績 → 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	204人	160人	332.0人	看護業務補助	32人	診療エックス線技師	0人
歯 科 医 師	5人	2人	6.6人	理学療法士	10人	臨床検査技師	46人
薬 剤 師	34人	4人	37.2人	作業療法士	3人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	2人	その他	0人
助 産 師	37人	0人	37.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	657人	29人	680.2人	臨床工学技士	8人	医療社会事業従事者	15人
准 看 護 師	2人	1人	2.8人	栄 養 士	1人	その他の技術員	10人
歯科衛生士	0人	1人	1.0人	歯 科 技 工 士	1人	事 務 職 員	69人
管理栄養士	7人	1人	7.8人	診療放射線技師	34人	そ の 他 の 職 員	13人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	656.8人	3.9人	660.7人
1日当たり平均外来患者数	1630.1人	63.3人	1693.4人
1日当たり平均調剤数	入院：605剤	外来：485剤	合計 1,090剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション(前十字靭帯損傷又は後十字靭帯損傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
凍結保存同種組織を用いた外科治療(心臓弁又は血管を用いるものであって、組織の凍結保存及び外科治療を同一施設内で行うものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
胎児心超音波検査(産科スクリーニング胎児超音波検査において心疾患が強く疑われる症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
インプラント義歯(顎骨の過度の吸収により、従来の可撤性義歯では咀嚼機能の回復が困難なものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎顔面補綴(腫瘍手術、外傷及び炎症その他の原因により顔面領域に生じた広範囲の実質欠損に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
顎関節症の補綴学的治療(顎関節症(顎関節内障、下顎頭の著しい変形及び顎関節円板の断裂を除く。)に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法(神経の障害による運動麻痺又は骨・関節手術後の筋萎縮に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光学印象採得による陶材歯冠修復法(歯冠部齶蝕の修復に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
経皮的レーザー椎間板減圧術(内視鏡下によるものを含み、椎間板ヘルニアに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定(白血病、悪性リンパ腫又は多発性骨髄腫その他の造血器悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法(手術が予定されている者で、悪性高熱症が強く疑われる者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
CTガイド下気管支鏡検査(肺腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断(アンチトロンビン欠乏症、第Ⅷ因子欠乏症、先天性アンチトロンビンⅢ欠乏症、先天性ヘパリンコファクターⅡ欠乏症又は先天性プラスミノゲン欠乏症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元形状解析による顔面の形態的診断(頭蓋、顔面又は頸部の変形性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験(消化器がん(根治度Cの胃がんを除く。)、頭頸部がん、乳がん、肺がん、がん性胸・腹膜炎、子宮頸がん、子宮体がん又は卵巣がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断(子宮頸部軽度異形成に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下肝部分切除術(肝外側区域切除術を含み、肝腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性腫瘍に対する陽子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術(角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
成長障害のDNA診断(特発性低身長症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術(内視鏡的治療若しくは薬物治療抵抗性の食道静脈瘤又は胃静脈瘤、門脈圧亢進症性胃腸症、難治性腹水又は難治性肝性胸水に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術(主に乳房温存手術が可能なステージⅠ又はⅡの乳がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
声帯内自家側頭筋膜移植術(一側性反回神経麻痺又は声帯溝症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨髄細胞移植による血管新生療法(閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の治療法に抵抗性のもので、フォンタン分類Ⅲ度又は同分類Ⅳ度のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
ミトコンドリア病のDNA診断(高乳酸血症その他のミトコンドリア機能低下が疑われる疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
鏡視下肩峰下腔徐圧術(透析アミロイド肩関節症又は腱板断裂、五十肩若しくは関節リウマチその他の原因による肩インピンジメント症候群に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経変性疾患のDNA診断(ハンチントン舞蹈病、脊髄小脳変性症、球脊髄性筋萎縮症、家族性筋萎縮性側索硬化症、家族性低カリウム血症性周期性四肢麻痺又はマックリード症候群その他の神経変性疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術(再発翼状片、角膜上皮欠損(角膜移植によるものを含む。)、角膜穿孔、角膜化学腐食、角膜癍痕、瞼球癒着(スティーブンス・ジョンソン症候群、眼類天疱瘡、熱・化学外傷癍痕その他の重症の癍痕性角結膜疾患を含む。)、結膜上皮内過形成又は結膜腫瘍その他の眼表面疾患に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重粒子線治療(固形がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術(原発性脊椎腫瘍又は転移性脊椎腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断(糖尿病性足病変危険群と考えられる糖尿病患者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療(腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊椎管狭窄症又は腰椎手術の実施後の腰下肢痛(保存治療に抵抗性のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断(BCG副反応症例又は非定形抗酸菌感染で重症、反復若しくは難治である場合に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
脾腫瘍に対する腹腔鏡補助下脾切除術(インスリーマ、脾動脈瘤、粘液性嚢胞腫瘍、脾管内腫瘍その他の脾良性腫瘍に係る脾体尾部切除又は核出術に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断(マントル細胞リンパ腫の補助診断として用いるものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断(急性期又は慢性期のQ熱に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
エキシマレーザー冠動脈形成術(経皮的冠動脈形成術(エキシマレーザー冠動脈形成術を除く。))による治療が困難なもの、慢性完全閉塞のもの又はこれに準ずるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
活性化Tリンパ球移入療法(原発性若しくは続発性の免疫不全症の難治性日和見感染症又は慢性活動性EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術(膀胱尿管逆流症(国際分類グレードⅤの高度逆流症を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術(泌尿生殖器腫瘍のリンパ節転移例又は画像上リンパ節転移が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植(HLA適合ドナーがないために造血幹細胞移植が受けられない小児のがん、難治性造血障害又は免疫不全症に係るものに限る。)	有・無	人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術(頸椎椎間板ヘルニア(画像診断上椎間板繊維輪の破綻していないヘルニアであって、神経根症が明らかであり保存治療に抵抗性のもの(後縦靭帯骨化症、脊椎管狭窄状態又は脊椎症状のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
ケラチン病の遺伝子診断(水疱型魚鱗癬様紅皮症又は単純型表皮水疱症その他の遺伝子異常に係るものに限る。)	有・無	人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
末梢血単核球移植による血管再生治療(慢性閉塞性動脈硬化症又はバージャー病(従来の内科的治療又は外科的治療が無効であるもの)に限り、三年以内の悪性新生物の既往又は未治療の糖尿病性網膜症のあるものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術(双胎間輸血症候群に罹患した一絨毛膜性双胎妊娠の症例(妊娠十六週から二十六週に限る。))に係るものに限る。)	有・無	人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法(肺がん又は気管支前がん病変に係るものに限る。)	有・無	人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断(ウィルソン病、メンケス病又はオキシピタルホーン症候群に係るものに限る。)	有・無	人
超音波骨折治療法(四肢の骨折(治療のために手術中に行われるものを除く。))のうち、観血的手術を実施したもの(開放骨折又は粉碎骨折に係るものを除く。))に係るものに限る。)	有・無	人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法(ヘリコバクター・ピロリ感染を伴う胃潰瘍又は十二指腸潰瘍に係るものに限る。)	有・無	人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存(骨又は靭帯の再建術であって、先天性疾患、外傷性(欠損性又は感染性偽関節に係るものに限る。)、骨腫瘍切除後、関節固定術時若しくは人工関節置換術時(初回又は再置換術時に限る。))の広範囲骨欠損、脊椎固定術時の骨融合促進又は靭帯断裂による関節不安定性に係るものに限る。)	有・無	人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術(難治性根尖性歯周炎であって、通常の根管治療では効果が認められないもの)に係るものに限る。)	有・無	人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価(骨粗鬆症、骨変形若しくは骨腫瘍又は骨腫瘍搔爬術後若しくは骨髄炎搔爬術後の症状に係るものに限る。)	有・無	人
膀胱水圧拡張術(間質性膀胱炎に係るものに限る。)	有・無	人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・無	人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・無	人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法(歯周炎による重度垂直性骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術(人工股関節のたるみに係るものに限る。)	有・無	人
腹腔鏡下直腸固定術(直腸脱に係るものに限る。)	有・無	人
骨移動術による関節温存型再建(骨軟部腫瘍切除後の骨欠損に係るものに限る。)	有・無	人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション(原発性肝がん、肝内胆管がん、転移性肝がん又は生体肝移植ドナーに係るものに限る。)	有・無	人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍(食道がん、胃がん又は大腸がん)、進行再発乳がん又は原発性若しくは転移性肺がんに係るものに限る。)	有・無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法(がん性の胸水、腹水又は進行がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断(EBウイルス感染症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術(尿管腫瘍、膀胱腫瘍、後腹膜腫瘍、後腹膜リンパ節腫瘍(精巣がんから転移したのものに限る。))又は骨盤リンパ節腫瘍(泌尿器がんから転移したのものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術(白内障に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
先天性難聴の遺伝子診断(遺伝性による先天性難聴が疑われるものに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断(フェニルケトン尿症、高フェニルアラニン血症又はビオプテリン反応性フェニルアラニン水酸化酵素欠損症に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による先天性代謝異常診断(先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))に罹患する可能性の高い胎児もしくは新生児又は先天性代謝異常(ライソゾーム病に限る。))が疑われる小児に係るものであって、酵素補充療法による治療が出来ないものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術(手術進行期分類I b期までの子宮体がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
RET遺伝子診断(甲状腺髄様癌に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
角膜ジストロフィの遺伝子解析(角膜ジストロフィと診断された症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
強度変調放射線治療(限局性の固形悪性腫瘍(頭頸部腫瘍、前立腺腫瘍又は中枢神経腫瘍であって、原発性のものを除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
マイクロ波子宮内膜アブレーション(機能性及び器質性過多月経(ただし、妊孕性の温存が必要な場合又は子宮内膜がん、異型内膜増殖症その他の悪性疾患又はその疑いがある場合を除く。))であって、子宮壁厚十ミリメートル以上の症例に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
抗EGFR抗体医薬投与前におけるKRAS遺伝子変異検査(EGFR陽性の治癒切除不能な進行又は再発の結腸又は直腸がんに係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
光トポグラフィー検査を用いたうつ症状の鑑別診断補助(ICD-10(統計法第二十八条及び附則第三条の規定に基づき、疾病、傷害及び死因に関する分類の名称及び分類表を定める件(平成二十一年総務省告示第七十六号)の「(1) 疾病、傷害及び死因の統計分類基本分類表」に規定する分類をいう。))においてF2(統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害)に分類される疾病及びF3(気分(感情)障害)に分類される疾病のいずれかの疾病の患者であることが強く疑われるうつ症状の者(器質的疾患に起因するうつ症状の者を除く。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
内視鏡下筋膜下不全穿通枝切離術(下肢慢性静脈不全症(下腿の広範囲の皮膚に色素沈着、硬化若しくは萎縮が起こり、又は潰瘍を有するとともに、超音波検査により穿通枝の血液が逆流していることが確認され、かつ、従来の外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴(小白歯の重度の齲蝕に対して全部被覆冠による歯冠補綴が必要な場合に限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(早期大腸がん(EMR(内視鏡的粘膜切除術をいう。以下同じ。))では一括切除が困難な二センチメートル以上の病変であって、拡大内視鏡診断又は超音波内視鏡診断による十分な術前評価の結果、根治性が期待できるものに限る。))又は腺腫(EMRを実施した際の病変の挙上不良なもの又はEMRを実施した後に遺残又は再発したものであってEMRでは切除が困難な一センチメートル以上の病変のものに限る。))に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
実物大臓器立体モデルによる手術支援(骨盤、四肢骨又は関節に著しい変形又は欠損を伴う疾患又は外傷に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
無拘束型多点感圧シートセンサを用いた検査(閉塞性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる症状(習慣性がある激しいいびき、日中の傾眠等をいう。))及び所見(肥満、薬物療法に対して抵抗性を有する高血圧等をいう。))が認められる者又は中枢性睡眠時無呼吸症候群が強く疑われる慢性心不全の者に係るものに限る。)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術(頸部良性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術(転移性脊椎骨腫瘍、骨粗鬆症による脊椎骨折又は難治性疼痛を伴う椎体圧迫骨折若しくは臼蓋骨折に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	<input checked="" type="radio"/> 有・無	109人
カフェイン併用化学療法(骨肉腫、悪性線維性組織球腫、滑膜肉腫又は明細胞肉腫その他の骨軟部悪性腫瘍に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児尿路・羊水腔シャント術(プルーン・ベリー症候群その他の胎児閉塞性尿路疾患に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療(ジストニア、痙性麻痺その他の局所の筋過緊張を呈する病態に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(従来の外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(従来外科的治療法の実施が困難なもの又は外科的治療法の実施により根治性が期待できないものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下甲状腺がん手術(手術の実施後、予後の良い甲状腺乳頭がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法(転移性骨腫瘍で既存の治療法により制御不良なもの又は類骨腫(診断の確実なものに限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法(一次性下肢静脈瘤に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術(特発性又は既知の胎児先天性感染による胸水を主たる徴候とする非免疫性胎児水腫症(NIHF)例であって、胸腔穿刺後一週間以降に胸水の再貯留が認められるもの(妊娠二十週から三十四週未満に限る。)に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法(二次性副甲状腺機能亢進症に係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
腹腔鏡補助下肝切除術(部分切除及び外側区域切除を除く。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
根治的前立腺全摘除術における内視鏡下手術用ロボット支援(前立腺がんに係るものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人
内視鏡下手術用ロボットを用いた冠動脈バイパス手術(虚血性心疾患に係るものであって、一箇所を吻合するものに限る。)	有・ <input type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	44人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	18人
・多発性硬化症	23人	・ウェグナー肉芽腫症	3人
・重症筋無力症	68人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	15人
・全身性エリテマトーデス	219人	・多系統萎縮症	19人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人
・再生不良性貧血	18人	・膿疱性乾癬	22人
・サルコイドーシス	151人	・広範脊柱管狭窄症	0人
・筋萎縮性側索硬化症	2人	・原発性胆汁性肝硬変	14人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	164人	・重症急性膵炎	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	49人	・特発性大腿骨頭壊死症	19人
・結節性動脈周囲炎	31人	・混合性結合組織病	29人
・潰瘍性大腸炎	88人	・原発性免疫不全症候群	5人
・大動脈炎症候群	16人	・特発性間質性肺炎	4人
・ビュルガー病	2人	・網膜色素変性症	3人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	18人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	31人	・神経線維腫症	5人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	9人	・バンド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	0人
・パーキンソン病関連疾患	121人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	2人
・アミロイドーシス	4人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	3人
・後縦靭帯骨化症	38人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・ハンチントン病	0人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1回程度		
剖検の状況	剖検症例数	32例	剖検率 6.1%

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
抗癌剤耐性化における c-MET 発現の意義	前野 健	呼吸器内科	¥700,000	⑨ 名古屋市立大学特別奨励費 委
高感受性悪性腫瘍に対する標準的治療確立のための多施設共同研究 20 指 -1	飯田 真介	血液・膠原病内科	¥1,200,000	⑨ がん研究助成金 委
多発性骨髄腫の発症と進展に関与する分子基盤の解明と新規分子標的療法の確立に関する研究 (がん研究助成金・計画研究 17-16)	飯田 真介	血液・膠原病内科	¥12,000,000	⑨ がん研究助成金 委
腎予備能低下と心血管事故：心・腎連関の機序を探る	木村 玄次郎	腎臓内科	¥2,470,000	⑨ 科学研究費 委
日本人における動脈硬化性大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究	大手 信之	循環器・心療内科	¥2,000,000	⑨ 厚生労働省 委
梗塞後リモデリング心の心筋酸素、脂肪酸、糖代謝からみた病態と循環薬剤の作用機序	大手 信之	循環器・心療内科	¥910,000	⑨ 科学研究費 委
癌-間質相互作用からみた膵癌脈管新生の分子生物学的解明	高橋 広城	消化器外科	¥1,800,000	⑨ 文部科学省 委
非小細胞肺癌における EGFR 遺伝子変異異常解析を用いたオーダーメイド治療	藤井 義敬	外科 (腫瘍免疫外科学)	¥2,300,000	⑨ 日本学術振興会 委

エンドスタチンの血管新生抑制効果増強のために：ZD6474 併用療法の確立	矢野 智紀	外科（腫瘍免疫外科学）	¥700,000	⑩ 日本学術振興会 委
アレイを用いた EGFR 遺伝子変異関連因子検索	雪上 晴弘	外科（腫瘍免疫外科学）	¥900,000	⑩ 日本学術振興会 委
食道癌における PI3K-Akt 経路に着目した発癌機構の解明	森 亮太	外科（腫瘍免疫外科学）	¥1,300,000	⑩ 文部科学省 委
乳癌の網羅的糖鎖解析による新規バイオマーカーの開発	山下 啓子	外科（腫瘍免疫外科学）	¥11,900,000	⑩ 日本学術振興会 委
免疫性神経疾患に対する研究調査	藤井 義敬	外科（腫瘍免疫外科学）	¥1,000,000	⑩ 厚生労働省 委
エストロゲンレセプター陽性乳癌の易罹患性に関する因子の検討	杉浦 博士	外科（腫瘍免疫外科学）	¥500,000	⑩ 愛知健康増進財団 委
関節水腫発症における水谷チャネル（アクアポリン）の発現機序解明と治療への応用	大塚 隆信	整形外科	¥1,600,000	⑩ 文部科学省 委
新しい環軸椎固定術の開発と生体力学的検証。致死的合併症根絶のために。	水谷 潤	整形外科	¥1,600,000	⑩ 文部科学省 委
緑茶の主成分（カテキン）の骨粗鬆症予防効果に関する研究	水谷 潤	整形外科	¥700,000	⑩ 名古屋市立大学特別研究奨励費 委
不育症病態における着床期子宮内膜血流障害の存在と抗血液凝固療法の治療効果の検討	尾崎 康彦	産科婦人科	¥1,700,000	⑩ 文部科学省 委
不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究	杉浦 真弓	産科婦人科	¥1,950,000	⑩ 厚生労働省 委

LIF 欠損マウスを用いた難治性習慣流産に対する子宮内膜再生動物モデル作成	杉浦 真弓	産科婦人科	¥650,000	⑧補 文部科学省 委
プロテインZの正常妊娠中の変動および不育症・妊娠高血圧症候群における変化	杉浦 真弓	産科婦人科	¥1,117,200	⑧補 (財)日母おぎゃー 献金基金(社)日本産婦 人科医会 委
妊娠高血圧症候群の血管内皮機能障害改善に向けての栄養管理に関する総合的研究	鈴木 佳克	産科婦人科	¥1,820,000	⑧補 文部科学省 委
歯周病産生プロテアーゼの早産への関与の検討	中西 珠央	産科婦人科	¥700,000	⑧補 名古屋市立大学 委
ヒト補助生殖技術のオランウータン人工授精計画への応用	尾崎 康彦	産科婦人科	¥500,000	⑧補 名古屋市立大学 委
胚盤胞期での筋強直性ジストロフィーに対する着床前診断に関する研究	佐藤 剛	産科婦人科	¥1,700,000	⑧補 文部科学省 委
高齢女性の動脈硬化性疾患予防と健康長寿を目指すアジア老年医学研究	鈴木 佳克	産科婦人科	¥390,000	⑧補 文部科学省 委
乳幼児突然死症候群(SIDS)の発症因子と覚醒反応発現に関する研究	加藤 稲子	小児科	¥1,040,000	⑧補 文部科学省 委
HCV 母子感染例では母子間でHCVゲノム分子進化速度に差があるか?	伊藤 孝一	小児科	¥500,000	⑧補 文部科学省 委
乳幼児突然死症候群(SIDS)における病態解明と臨床的対応および予防法開発とその普及啓発に関する研究	戸苅 創	小児科	¥9,000,000	⑧補 厚生労働省 委

加齢黄斑変性に対する血管内皮増殖因子を標的としたドラッグデリバリーシステムの開発	小椋 祐一郎	眼科	¥5,720,000	⑩ 日本学術振興会 委
網膜微小循環障害における好中球エラスターゼの役割	吉田 宗徳	眼科	¥1,430,000	⑩ 日本学術振興会 委
加齢黄斑変性の新しい治療評価系としての家兔眼実験モデルの開発	安川 力	眼科	¥1,170,000	⑩ 日本学術振興会 委
血管分子生物学的アプローチによる黄斑部特殊性の解明	野崎 実穂	眼科	¥1,560,000	⑩ 日本学術振興会 委
糖尿病網膜症における腫瘍壊死因子 (TNF-alpha) の病態的意義の解明	松原 明久	眼科	¥1,430,000	⑩ 文部科学省 委
血管分子生物学的アプローチによる黄斑部特殊性の解明	野崎 実穂	眼科	¥1,560,000	⑩ 日本学術振興会 委
糖尿病網膜症における腫瘍壊死因子 (TNF-alpha) の病態的意義の解明	松原 明久	眼科	¥1,430,000	⑩ 文部科学省 委
血管分子生物学的アプローチによる黄斑部特殊性の解明	野崎 実穂	眼科	¥1,560,000	⑩ 日本学術振興会 委
内耳有毛細胞における新規カルシウムチャネルの機能解析	稲垣 彰	耳鼻いんこう科	¥1,700,000	⑩ 文部科学省 委
siRNA を導入した樹状細胞による新しい鼻アレルギー治療の開発	鈴木 元彦	耳鼻いんこう科	¥2,500,000	補 ⑩ 日本学術振興会
ウイルス性顔面神経麻痺の病態解明と新たな治療法の開発に関する基礎的研究	村上 信五	耳鼻いんこう科	¥1,100,000	補助 ⑩ 日本学術振興会
嗅上皮由来組織幹細胞を用いた嗅覚障害治療の開発における基礎的研究	濱島 有喜	耳鼻いんこう科	¥1,300,000	補 ⑩ 日本学術振興会

多機能幹細胞から内耳有毛細胞への分化と内耳再生の研究	小関 晶嗣	耳鼻いんこう科	¥1,100,000	補 ⑤ 日本学術振興会
制御性樹状細胞を用いた新しいアレルギー性鼻炎治療の開発	大野 伸晃	耳鼻いんこう科	¥2,500,000	補 ⑤ 日本学術振興会
中耳・副鼻腔における炎症の遷延化と粘膜修復機構に関する基礎的研究	中村 善久	耳鼻いんこう科	¥1,300,000	⑤ 文部科学省 委
再燃性アトピー性皮膚炎の簡易診断法の開発	森田 明理	皮膚科	¥500,000	⑤ JST 産学共同シーズイノベーション化事業顕在化ステージ 委
紫外線照射が原因となる皮膚癌（有棘及び基底細胞癌や悪性黒色腫）発症機序の解明	山口 裕史	皮膚科	¥500,000	⑤ 愛知県がん研究振興会 委
フォトフェレーシスのメカニズム解析と疾患への応用	前田 晃	皮膚科	¥1,300,000	⑤ 日本学術振興会 委
ゲノム情報を用いた尿路結石形成機序の解明と遺伝子診断・予防法の開発	郡 健二郎	泌尿器科	¥2,200,000	⑤ 文部科学省 委
KIT 陽性間質細胞情報伝達機構の解明と過活動膀胱に対する新規分子標的治療の開発	佐々木 昌一	泌尿器科	¥2,990,000	⑤ 文部科学省 委
前立腺癌のホルモン耐性獲得におけるチェックポイント機構の関与	橋本 良博	泌尿器科	¥2,860,000	⑤ 文部科学省 委
尿路結石形成時の酸化ストレス発生機序の解明と遺伝子組み換えマウスを用いた機能解析	安井 孝周	泌尿器科	¥2,600,000	⑤ 文部科学省 委
メタボリックシンドロームの観点からみた尿路結石症予防法の確立に向けた研究	伊藤 恭典	泌尿器科	¥2,080,000	⑤ 文部科学省 委

サイクリン依存性キナーゼインヒビターp57の前立腺癌ホルモン耐性獲得への関与	永田 大介	泌尿器科	¥2,080,000	⑨補 文部科学省 委
遺伝子導入ES細胞からの腎臓発生分化に関する基礎的研究	中根 明宏	泌尿器科	¥2,860,000	⑨補 文部科学省 委
上皮間誘導と伸展刺激を利用した機能的尿路再建	丸山 哲史	泌尿器科	¥1,300,000	⑨補 文部科学省 委
前立腺肥大症の細胞増殖機構の解明と遺伝子治療に向けての基礎研究	小島 祥敬	泌尿器科	¥1,100,000	⑨補 文部科学省 委
精子の受精能に係わる責任遺伝子の同定とその機能解明	梅本 幸裕	泌尿器科	¥1,950,000	⑨補 文部科学省 委
過活動膀胱の膀胱興奮性におけるKit陽性細胞の役割	窪田 泰江	泌尿器科	¥1,430,000	⑨補 文部科学省 委
停留精巣組織で特異的発現をする遺伝子群の精巣分化・発生における役割	水野 健太郎	泌尿器科	¥1,170,000	⑨補 文部科学省 委
停留精巣の造精機能獲得に向けた遺伝子治療と精子再生医療の研究	岡田 真介	泌尿器科	¥1,430,000	⑨補 文部科学省 委
エレクトロポレーション法を用いた男子配偶子に対する遺伝子治療の基礎的研究	窪田 裕樹	泌尿器科	¥1,430,000	⑨補 文部科学省 委
環境因子と遺伝因子からみた尿路結石形成機序の解明と再発リスク診断法・治療薬の開発	郡 健二郎	泌尿器科	¥10,920,000	⑨補 文部科学省 委
遺伝子導入を用いた精子形成の試みと男子不妊症臨床応用に向けた基礎的研究	小島 祥敬	泌尿器科	¥3,380,000	⑨補 文部科学省 委

男児外陰部異常症および生殖機能障害と化学物質：個体感受性と暴露量に関するゲノム疫学研究	小島 祥敬	泌尿器科	¥2,500,000	(補) 厚生労働省 委
正電荷リボソーム包埋型磁性ナノ粒子を用いる温熱療法と臨床研究を目指した基盤整備	河合 憲康	泌尿器科	¥250,000	(補) 文部科学省 委
腎結石形成・消失現象に関わる遺伝子群の同定とマクロファージ機能の解明	岡田 淳志	泌尿器科	¥1,170,000	(補) 文部科学省 委
遺伝子組換えマウスを用いた尿路結石形成におけるオステオポンチンの機能部位の解析	秋田 英俊	泌尿器科	¥1,560,000	(補) 文部科学省 委
尿路結石に特徴的な一塩基型による人種差の検討	安井 孝周	泌尿器科	¥1,000,000	(補) 財団法人日中医学協会 委
尿路結石の形成機序に関わるマクロファージの機能解明	岡田 淳志	泌尿器科	¥500,000	(補) 日本泌尿器科学会 第2回ヤングリサーチ グラント 委
迅速な創薬化を目指したがんペプチドワクチン療法の開発	郡 健二郎	泌尿器科	未定	補 (委) 内閣府科学技術政策 先端医療開発特区 (スーパー特区)
コンピューターによるゲノムワイド解析を応用した尿路結石症における遺伝子型ハプロタイプ再発リスク診断とテーラーメイド治療の確立	安井 孝周	泌尿器科	¥1,000,000	(補) 財団法人堀情報科学振興財団 第18回研究助成 委
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	古川 壽亮	精神科	¥430,000	補 (委) 国立精神・神経センター

気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	古川 壽亮	精神科	¥1,100,000	補 委 国立精神・神経センター
治療抵抗性うつ病に対する認知行動分析システム 精神療法とその品質管理体制の開発研究	古川 壽亮	精神科	¥600,000	補 文部科学省 委
不育症治療に関する再評価と新たな治療法の開発に関する研究	古川 壽亮	精神科	¥500,000	補 厚生労働省 委
精神療法の実施方法と有効性に関する研究	古川 壽亮	精神科	¥3,000,000	補 厚生労働省 委
精神科領域における臨床研究推進のための基盤作りに関する研究	渡辺 範雄	精神科	¥5,000,000	補 厚生労働省 委
せん妄の早期発見、早期治療のための医療スタッフ向け教育プログラムの開発	明智 龍男	精神科	¥1,600,000	補 文部科学省 委
がん外来化学療法における患者のニード調査・多施設比較研究	明智 龍男	精神科	¥230,000	補 文部科学省 委
QOL向上のための各種患者支援プログラムの開発に関する研究	明智 龍男	精神科	¥2,000,000	補 厚生労働省 委
がん患者に対するリエゾンの介入や認知行動療法的アプローチ等の精神医学的な介入の有用性に関する研究	明智 龍男	精神科	¥12,862,000	補 厚生労働省 委
放射線照射患者を対象とした遺伝子多型解析による有害事象予測に関する研究	芝本 雄太	放射線科	¥1,050,000	補 委 独立行政法人放射線医学総合研究所
早期の癌に対する標準的放射線治療方法確立のための臨床試験	山田 章吾 (東北大学)	放射線科	¥260,000	補 文部科学省 委

大線量単回照射と少数回分割照射における等生物効果線量換算式の確立	芝本 雄太	放射線科	¥1,430,000	補 ⑤ 文部科学省
水チャンネル<アクアポリン>を標的とした新しい脳浮腫治療法の開発	祖父江 和哉	麻酔科	¥2,600,000	⑤ 科学研究費 委
RNA iを用いた軽度低温の脳浮腫抑制効果に果たす水チャンネル機能の解析	藤田 義人	麻酔科	¥700,000	⑤ 科学研究費 委
ニューロカインによる末梢侵害受容機構の修飾	杉浦 健之	麻酔科	¥1,500,000	⑤ 科学研究費 委
新しい脳水分測定法の開発と基礎的応用－水チャンネルに着目した新脳浮腫治療法の開発－	平手 博之	麻酔科	¥1,100,000	⑤ 科学研究費 委
アガツトスゴアを基準とした頸動脈プラークの網羅的遺伝子発現解析	片野 広之	脳神経外科	¥910,000	⑤ 科学研究費 委
髄液漏出診断における簡便な検出方法の検討	西尾 実	脳神経外科	¥1,430,000	⑤ 科学研究費 委
MRIによる脳の局所弾性解析	間瀬 光人	脳神経外科	¥50,000	⑤ 科学研究費 委
高次脳機能障害者に対する地域支援ネットワークの構築に関する研究	山田 和雄	脳神経外科	¥1,400,000	⑤ 厚生労働省 委
脳脊髄液減少症の診断・治療の確立に関する研究	西尾 実	脳神経外科	¥1,000,000	⑤ 厚生労働省 委
無症候性頸動脈狭窄症に対する治療方針の確立に関する研究	山田 和雄	脳神経外科	¥25,040,000	補 ⑤ 厚生労働省
脳外傷後高次脳機能障害患者に対するインタラクティブリハビリテーション	間瀬 光人	脳神経外科	¥5,000,000	補 ⑤ 社団法人日本損害保険協会

発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	間瀬 光人	脳神経外科	¥300,000	補 ⑤ 厚生労働省
B型肝炎ウイルス遺伝子型毎の薬剤耐性メカニズムの解明	溝上 雅史	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥5,850,000	⑤ 日本学術振興会 委
テーラーメイド治療を目指した肝炎ウイルスデータベース構築に関する研究	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥50,450,000	⑤ 厚生労働省 委
B型肝炎ウイルス複製モデルを用いた肝病態進展メカニズムの解明	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥2,340,000	⑤ 日本学術振興会 委
肝細胞癌領域のマーカー開発	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥3,150,000	補 ⑤ バイオテクノロジー開発技術研究組合
E型肝炎の感染経路・宿主域・遺伝的多様性・感染防止・診断・治療に関する研究	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥1,000,000	⑤ 厚生労働省 委
ジェノミクス技術を用いたウイルス性肝炎に対する新規	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥2,500,000	⑤ 厚生労働省 委
肝炎ウイルスの培養系を用いた新規肝炎治療法の開発	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥5,000,000	⑤ 厚生労働省 委
血液製剤に含まれるC型肝炎ウイルスの感染経路による感染リスクの差に関する解析	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥7,000,000	⑤ 厚生労働省 委
開発途上国におけるHIV罹患状況からみたウイルス性肝炎の実態調査	田中 靖人	中央臨床検査部 (臨床分子情報医学)	¥1,000,000	補 ⑤ 国立国際医療センター

合計 105件

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Nagoya Medical Journal (発行 2008 年 月 日)	Usefulness of Mycobacterium tuberculosis-specific enzyme-linked immunospot assay for the diagnosis of tuberculous pleurisy.	中村 敦	呼吸器内科
Molecular Cancer Therapeutics (発行 2008 年 5 月 日)	MRP7/ABCC10 expression is a predictive biomarker for the resistance to paclitaxel in non-small cell lung cancer	小栗 鉄也	呼吸器内科
Oncology Reports (発行 2009 年 1 月 日)	ABCC10/MRP7 is associated with vinorelbine resistance in non-small cell lung cancer	小栗 鉄也	呼吸器内科
気管支学 (発行 2009 年 2 月 日)	巧みさと標準化	佐藤 滋樹	呼吸器内科
糖尿病 51 : S-366, 2008 (発行 2008 年 5 月 24 日)	Angiotensin II 受容体拮抗薬(ARB)の糖尿病患者での降圧降下と糖・脂質代謝への影響：オルメサルタンとテルミサルタンとの比較	岡山 直司	内分泌・糖尿病内科
Cancer Science (発行 2008 年 11 月 日)	Overexpression of carboxylesterase-2 results in enhanced efficacy of topoisomerase I inhibitor, irinotecan (CPT-11), for multiple myeloma.	矢野 寛樹	血液・膠原病内科
Cancer Science (発行 2008 年 12 月 日)	Bortezomib-induced apoptosis in mature T-cell lymphoma cells partially depends on up-regulation of Noxa and functional repression of Mcl-1.	李 政樹	血液・膠原病内科
Japanese Journal of Clinical Hematology (発行 2008 年 10 月 日)	Treatment for multiple myeloma: current status and future strategy in Japan	飯田 真介	血液・膠原病内科
Intern Med. (発行 2008 年 12 月 日)	Alendronate-induced esophagitis: possible pathogenic role of hypersensitivity to alendronate.	難波 大夫	血液・膠原病内科
Rheumatol Int. (発行 2009 年 1 月 日)	Adding low dose tacrolimus in rheumatoid arthritis patients with an inadequate response to tumor necrosis factor inhibitor therapies.	難波 大夫	血液・膠原病内科

JOP (発行 2008 年 7 月 日)	A case of obstructive jaundice caused by impaction of a pancreatic stone in the papilla for which a needle knife precut papillotomy was effective.	内藤 格	肝・膵臓 内科
Dig Dis Sci. (発行 2008 年 7 月 日)	Role of Osteopontin in Calcification in Autoimmune Pancreatitis.	高田 博樹	肝・膵臓 内科
Intern Med. (発行 2009 年 月 日)	Liver atrophy and portal stenosis in two cases of sclerosing cholangitis associated with autoimmune pancreatitis.	中沢 貴宏	肝・膵臓 内科
Hepato-gastroenterol (発行 2009 年 3 月 日)	Clinical course and indications for steroid therapy of sclerosing cholangitis associated with autoimmune pancreatitis.	中沢 貴宏	肝・膵臓 内科
Hepatol Res. (発行 2009 年 1 月 日)	Effect of ursodeoxycholic acid on serum liver enzymes and bile acid metabolism in chronic active hepatitis C virus infection.	野尻 俊輔	肝・膵臓 内科
Biochem Biophys Res Commun (発行 2009 年 2 月 6 日)	Analysis of DNA variations in promoter region of HCNP gene with Alzheimer's disease.	Okita K	神経 内科
Brain and Nerve (発行 2009 年 2 月 日)	Case of paraneoplastic limbic encephalitis associated with malignant B cell lymphoma]	Kawashima S	神経 内科
Eur Heart J (発行 2008 年 4 月 日)	A pathophysiological study of tako-tsubo cardiomyopathy with F-18 fluorodeoxyglucose positron emission tomography.	吉田 哲郎	循環器・ 心療内科
Eur Heart J (発行 2008 年 5 月 日)	Pathophysiology of 'Tako-Tsubo' cardiomyopathy: collecting pieces of a puzzle.	吉田 哲郎	循環器・ 心療内科
Am J Cardiol (発行 2008 年 6 月 日)	Peak mitral annular velocity during early diastole and propagation velocity of early diastolic filling flow are not interchangeable as the parameters of left ventricular early diastolic function.	大手 信之	循環器・ 心療内科

J Am Soc Echocardiogr (発行 2008 年 6 月 日)	Myocardial radial strain in early diastole is useful for assessing left ventricular early diastolic function: comparison with invasive parameters.	若見 和明	循環器・ 心療内科
Am J Cardiol. (発行 2008 年 6 月 日)	Usefulness of fibrinogen/fibrin degradation product to predict poor one-year outcome of medically treated patients with acute type B aortic dissection.	北田 修一	循環器・ 心療内科
Hypertension (発行 2008 年 9 月 日)	Nifedipine improves endothelial function: role of endothelial progenitor cells.	杉浦 知範	循環器・ 心療内科
Hypertension (発行 2008 年 12 月 日)	Patients with renal dysfunction require a longer duration until blood pressure dips during the night.	福田 道雄	腎臓内科
Kidney Int (発行 2008 年 12 月 日)	Diuretics should be used as the second-line agent in combination with RAS inhibitors in proteinuric patients with CKD.	福田 道雄	腎臓内科
Hypertens Res (発行 2008 年 12 月 日)	Metabolic disorders predict development of hypertension in normotensive Japanese subjects.	高瀬 浩之	循環器・ 心療内科
Hypertens Res (発行 2008 年 12 月 日)	Does B-type natriuretic peptide predict the new onset of Hypertension?	高瀬 浩之	循環器・ 心療内科
American Heart Journal (発行 2009 年 2 月 日)	Within-person variation of the plasma concentration of B-type natriuretic peptide: Safety range in stable patients with heart failure.	武田 泰子	循環器・ 心療内科
J Nucl Cardiol (発行 2009 年 2 月 日)	Impaired myocardial oxidative metabolism in the remote normal region in patients in the chronic phase of myocardial infarction and left ventricular remodeling.	大手 信之	循環器・ 心療内科
Genomics (発行 2009 年 3 月 日)	Association of a polymorphism of the apolipoprotein E gene with chronic kidney disease in Japanese individuals with metabolic syndrome.	吉田 哲郎	循環器・ 心療内科
Pancreas (発行 2008 年 5 月 日)	Opposing effects of n-6 and n-3 polyunsaturated fatty acids on pancreatic cancer growth.	Funahashi H	消化器 外科
World J Surg Oncol (発行 2008 年 6 月 日)	Granulocyte-colony stimulating factor producing rectal cancer.	Takahashi H	消化器 外科

Cancer Sci (発行 2008 年 7 月 日)	Interleukin-2 potentiation of cetuximab antitumor activity for epidermal growth factor receptor-overexpressing gastric cancer xenografts through antibody-dependent cellular cytotoxicity.	Hara M	消化器 外科
日本臨床 (発行 2008 年 7 月 日)	S-1 の bioavailability(AUC)からみた予後の検討	赤毛 義実	消化器 外科
Dis Colon Rectum (発行 2008 年 7 月 日)	Negative serum carcinoembryonic antigen has insufficient accuracy for excluding recurrence from patients with dukes C colorectal cancer: analysis with likelihood ratio and posttest probability in a follow-up study.	Hara M	消化器 外科
Nagoya Med J (発行 2008 年 7 月 日)	下部直腸癌における側方リンパ節郭清の検討	佐藤 幹則	消化器 外科
J Surg Res (発行 2008 年 8 月 日)	Basement membrane proteins play an important role in the invasive processes of human pancreatic cancer cells.	Sawai H	消化器 外科
J Surg Res (発行 2008 年 8 月 日)	Interleukin-1 α enhances angiogenesis and is associated with liver metastatic potential in human gastric cancer cell lines.	Ma J	消化器 外科
BMC Gastroenterology (発行 2008 年 11 月 日)	Loss of PTEN expression is associated with colorectal cancer liver metastasis and poor patient survival.	Sawai H	消化器 外科
Nagoya Med J (発行 2009 年 1 月 日)	膵癌の増殖・浸潤能に対して不飽和脂肪酸(ω -3,-6)が及ぼす影響	沢井 博純	消化器 外科
Gastroenterology (発行 2009 年 2 月 日)	Huge peritoneal loose body in the pelvic cavity.	Takayama S	消化器 外科
Int J Cancer (発行 2009 年 2 月 日)	CXCL8/IL-8 and CXCL12/SDF-1 α co-operatively promote invasiveness and angiogenesis in pancreatic cancer.	Matsuo Y	消化器 外科
日本臨床外科学会雑誌 (発行 2009 年 2 月 日)	ポリスチレンスルホン酸カルシウム(ア-ガメイトゼリー)内服中に発症した S 状結腸穿孔性腹膜炎の 1 例	高橋 広城	消化器 外科
J Surg Oncol (発行 2009 年 2 月 日)	IL-1 α secreted by colon cancer cells enhances angiogenesis: The relationship between IL-1 α release and tumor cells' potential for liver metastasis.	Matsuo Y	消化器 外科

Gen Thorac Cardiovasc Surg (発行 2008 年 5 月 日)	Preoperative steroid therapy stabilizes postoperative respiratory condition in myasthenia gravis	藤井 義敬	外科 (腫瘍・免疫外科学)
J Surg Res (発行 2008 年 5 月 日)	ErbB3 mRNA expression correlated with specific clinicopathologic features of Japanese lung cancers	川野 理	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Dis Esophagus (発行 2008 年 月 日)	Identification of candidate genes involved in the radiosensitivity of esophageal cancer cells by microarray analysis	小川 了	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Gen Thorac Cardiovasc Surg (発行 2008 年 7 月 日)	Thymic carcinoma with dissemination: a retrospective analysis of ten patients	矢野 智紀	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Int J Clin Oncol (発行 2009 年 2 月 日)	micro RNA expression profile in un differentiated gastric cancer	堅田 武保	外科 (腫瘍・免疫外科学)
BMC Cancer (発行 2008 年 10 月 日)	Frequently increased epidermal growth factor receptor (EGFR) copy numbers and decreased BRCA1 mRNA expression in Japanese triple-negative breast cancers	遠山 竜也	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Cancer Res (発行 2008 年 7 月 日)	miR-206 expression is down-regulated in estrogen receptor α -positive human breast cancer	近藤 直人	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Cancer Sci (発行 2008 年 11 月 日)	Met gene copy number predicts the prognosis for completely resected non-small cell lung cancer	奥田 勝裕	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Endocr Relat Cancer (発行 2008 年 9 月 日)	Low phosphorylation of ER α serine 118 and high phosphorylation of ER α serine 167 improve survival in ER-positive breast cancer	山下 啓子	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Immunity (発行 2008 年 9 月 日)	The cytokine RANKL produced by positively selected thymocytes fosters medullary thymic epithelial cells that express autoimmune regulator	彦坂 雄	外科 (腫瘍・免疫外科学)
Int J Clin Oncol (発行 2008 年 10 月 日)	Current research topics in endocrine therapy for breast cancer	山下 啓子	外科 (腫瘍・免疫外科学)